

【公報種別】特許法第17条の2の規定による補正の掲載

【部門区分】第6部門第1区分

【発行日】平成19年4月19日(2007.4.19)

【公表番号】特表2006-522336(P2006-522336A)

【公表日】平成18年9月28日(2006.9.28)

【年通号数】公開・登録公報2006-038

【出願番号】特願2006-509274(P2006-509274)

【国際特許分類】

G 0 1 N 33/53 (2006.01)

G 0 1 N 33/543 (2006.01)

G 0 1 N 21/78 (2006.01)

【F I】

G 0 1 N 33/53 D

G 0 1 N 33/543 5 4 5 A

G 0 1 N 21/78 Z

【手続補正書】

【提出日】平成19年3月5日(2007.3.5)

【手続補正1】

【補正対象書類名】特許請求の範囲

【補正対象項目名】全文

【補正方法】変更

【補正の内容】

【特許請求の範囲】

【請求項1】

対象における神経損傷の検出方法であって、

(a) 対象に由来する生物試料中の少なくとも1つの神経フィラメント由来のタンパク質またはペプチド(N F D P)の存在または量を検出する工程と、

(b) 試料中のN F D Pの存在または量を神経損傷と相關づける工程とを備える方法。

【請求項2】

試料中の少なくとも1つのN F D Pの存在または量を検出する工程(a)は、試料を、少なくとも1つのN F D Pと特異的に結合する少なくとも1つの抗体と接触させることを含むことを特徴とする請求項1に記載の方法。

【請求項3】

試料中の少なくとも1つのN F D Pの存在または量を検出する工程(a)は、イムノプロッティング、E L I S A、ラジオイムノアッセイ、免疫拡散法または免疫沈降からなる群より選択される免疫学的検定を実施することを含むことを特徴とする請求項1に記載の方法。

【請求項4】

生物試料は、血液、血清、血漿、およびC S Fからなる群より選択される流体であることを特徴とする請求項1に記載の方法。

【請求項5】

試料中の少なくとも1つのN F D Pの存在を検出または定量する工程(a)は、試料を、N F - Hと特異的に結合する抗体と接触させることを含むことを特徴とする請求項1に記載の方法。

【請求項6】

試料中の少なくとも1つのN F D Pの存在または量を検出する工程(a)は、E L I S Aを実施することを含むことを特徴とする請求項5に記載の方法。

【請求項 7】

対象における神経損傷を検出するためのキットであって、
(a) 固体基体と、
(b) N F D P に特異的に結合する少なくとも 1 つの抗体と、
(c) 少なくとも 1 つの抗体と N F D P との結合を検出するための試薬と、
(d) 対象における神経損傷を検出するためのキットの使用説明書と

を含むキット。

【請求項 8】

N F D P は N F - H であることを特徴とする請求項 7 に記載のキット。

【請求項 9】

N F D P に対する少なくとも 1 つの抗体の結合を検出する試薬が、発色性基質分子を含むことを特徴とする請求項 7 に記載のキット。

【請求項 10】

少なくとも 1 つの抗体と N F D P との結合の検出を、神経損傷と相關づけることを特徴とする請求項 7 に記載のキット。